

令和6年度 地域を担う次世代人材育成プロジェクト 成果報告書



令和7年3月
鹿児島県教育委員会

目 次

刊行に当たって

I 令和6年度次世代人材育成プロジェクト実施要項

II 実施報告

1 実施校：鹿児島県立串木野高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

プ ラ ン	総合的な探究の時間（地域探究）：「串木野学」 ～郷土愛を育み、いちき串木野市の発展に寄与する人材の育成を目指して～
概 要	地域社会の将来を担う人材の育成を目指し、地域産業界や行政、大学等の協力機関と協働し、本市が抱える課題を見つけ出し、それに対する解決策を主体的に考え出す。その過程を通じて、郷土に更なる愛着を持ち、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成するとともに、地域振興の核としての本校の一層の機能強化を目指す。
協 働 先	いちき串木野市役所、いちき串木野市観光案内所、いちき串木野市教育委員会、いちき串木野市商工会議所、濱田酒造、串木野さのさ保存会、清泉女子大学、川内南中学校、珈琲堂ジャマイカ、勘場蒲鉾、日高水産、菊屋、浜崎蒲鉾、いちき串木野市包括支援センター、九州電力薩摩川内複合施設センノオト

2 実施校：鹿児島県立鶴翔高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18

プ ラ ン	地域を愛し 地域を守る 未来の人材育成プロジェクト phase one ～生徒の主体的な課題解決と学校・地域連携の模索～
概 要	今年度20周年の節目を迎える阿久根市唯一の高等学校である。新しい挑戦として、地域と連携して郷土の自然や資源の豊かさを体験的に学び、地域を愛し守りたいという思いを抱く生徒を育て、さらに次世代につなごうとする取組の第1段階を始動したいと考えている。
協 働 先	阿久根市役所、長島町役場、長島町教育委員会、認定こども園あくね園、長島町立獅子島中学校、東京都市大学、肥薩おれんじ鉄道株式会社、阿久根市地域おこし協力隊、阿久根ロータリークラブ、マキオドライビングスクール、レガーレ・ワキタ、有限会社尾塚水産、サカナヤマルカマ、脇元海岸ウミガメシロチドリの会、泰平食品（有）、株式会社NEVER LAND、大阪市立自然史博物館、農学博士

3 実 施 校：鹿児島県立鹿児島水産高等学校・・・・・・・・・・ P 35

プ ラ ン	水高生 結 ぷろじえくと ～アマモとチョウザメで新たな魅力発信～
概 要	アマモの育成及びアマモ場の造成，チョウザメを活用し，キャビアの生産・販売に挑戦する。この取組を地元企業と連携して実施することにより，水高キャビアとしての話題性を持たせ，地域の活性化につなげたい。
協 働 先	南さつま市役所産業おこし部商工水産課，南薩地域振興局林務水産課，坊泊漁業協同組合，笠沙町漁業協同組合，加世田漁業協同組合，鹿児島県漁業協同組合南さつま久志支所，玉川大学農学部，近畿大学農学部水産研究所新宮実験場，（株）ディ・シィ・ティ，（株）キャビア王国，（株）しまのみなど

4 実 施 校：鹿児島県立隼人工業高等学校・・・・・・・・・・ P 53

プ ラ ン	新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト ～ コンソーシアムパーク隼人 ～
概 要	霧島市には，数多くの学校，企業が集積しており，その特性を生かし，行政と教育機関，産業界を中心とした産学官の連携・協働により，地域社会と一体となった魅力ある高校づくりに取り組むことで，専門的職業人を育成し，活力のある地域づくりや郷土への誇りや愛着を醸成し，その良さを発信できる人材を育成する。
協 働 先	株式会社藤田ワークス，マイクロカット株式会社，株式会社飯塚製作所，ヤマグチ株式会社，株式会社ワイテック，ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社，国分電機株式会社，キリシマ精工株式会社，九州タブチ，フェニテックセミコンダクター株式会社，株式会社ユピテル，株式会社アルバック九州，第一工科大学，K C S 鹿児島情報専門学校，霧島市立隼人中学校，霧島市立日当山中学校，霧島市立牧園中学校，鹿児島モノづくり推進協議会事務局，霧島市役所商工観光部商工振興課

刊行に当たって

少子化は、産業・経済、文化・学芸などあらゆる分野の繁栄と、発展を大きく減速させており、地域を担う人材の育成は喫緊の課題となっています。

そこで県教委では、高校と市町村、教育機関、産業界等がコンソーシアムを構築し、地域を題材とした探究的な学びや、産学官連携による専門的職業人材を育成するため、本年度より「地域を担う次世代人材育成プロジェクト」を実施しています。

本事業は、地域振興の核としての高校の機能強化と、郷土に愛着をもち、地域ならではの新しい価値を創造する人材の育成を支援するもので、今年度は探究的な学びを醸成する「探究コース」に串木野高校、鶴翔高校、専門的職業人材を育成する「エキスパートコース」に鹿児島水産高校、隼人工業高校の4校を指定しました。

串木野高校では、普通科において、「串木野学」をテーマとして、いちき串木野市が抱える課題を見つけ出し、解決策を主体的に考え、その過程を通じて地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成するとともに、地域における高校の機能強化に取り組みました。

鶴翔高校では、総合学科・農業科学科・食品技術科において、「地域を愛し 地域を守る 未来の人材育成プロジェクト phase one」をテーマとして、フィールドワークや、グループワーク学習を進めることにより、郷土の自然や資源の豊かさを地域と連携して体験的に学び、地域を愛し守りたいという思いを抱く生徒の育成に取り組みました。

鹿児島水産高校では、海洋科において、「水高生 結 プロジェクト」をテーマとして、アマモの育成及びアマモ場の造成、チョウザメの飼育及びキャビアの生産を地域と連携・協働しながら取り組んでいく実践的・体験的活動を行うなかで、次の世代へ豊かな海づくりの精神を広げる人材育成や自己有用感の醸成に取り組みました。

隼人工業高校では、インテリア科・電子機械科・情報技術科において、「新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト」をテーマに、講演会や出前授業等を産学官の連携・協働により行い、地域社会と一体となった魅力ある高校づくりに取り組むことで、専門的職業人の育成に取り組みました。

本事業による地域を題材とした探究的な学びや地方創生に向けた取組は、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るとともに、高校を地域振興の核としてますます機能させる上で、今後さらなる充実が図られる必要があると考えています。

最後に、本事業の実施に御協力いただきました関係各位に感謝申しあげるとともに、各学校においては地域と協働した教育活動がより一層充実するよう、よろしくお願いします。

令和7年3月

高校教育課長 川 上 隆 博

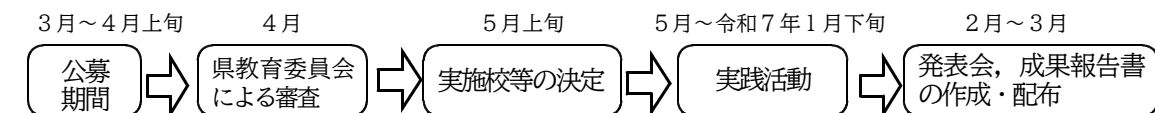
令和6年度 郷土教育推進事業 ～地域を担う次世代人材育成プロジェクト～実施要項

1 目的・必要性

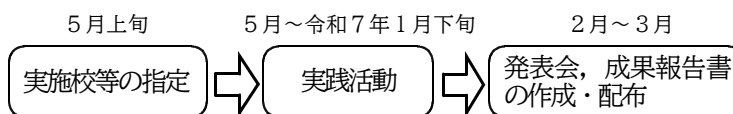
- (1) 目的
地域を担う次世代人材を育成するために、高校と市町村、高等教育機関、産業界等がコンソーシアムを構築し、地域を題材とした探究的な学びや、産学官連携による専門的職業人材育成を実践する。その過程を通じて、郷土に愛着をもち、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成するとともに、地域振興の核としての高校の一層の機能強化を目指す。

2 内容

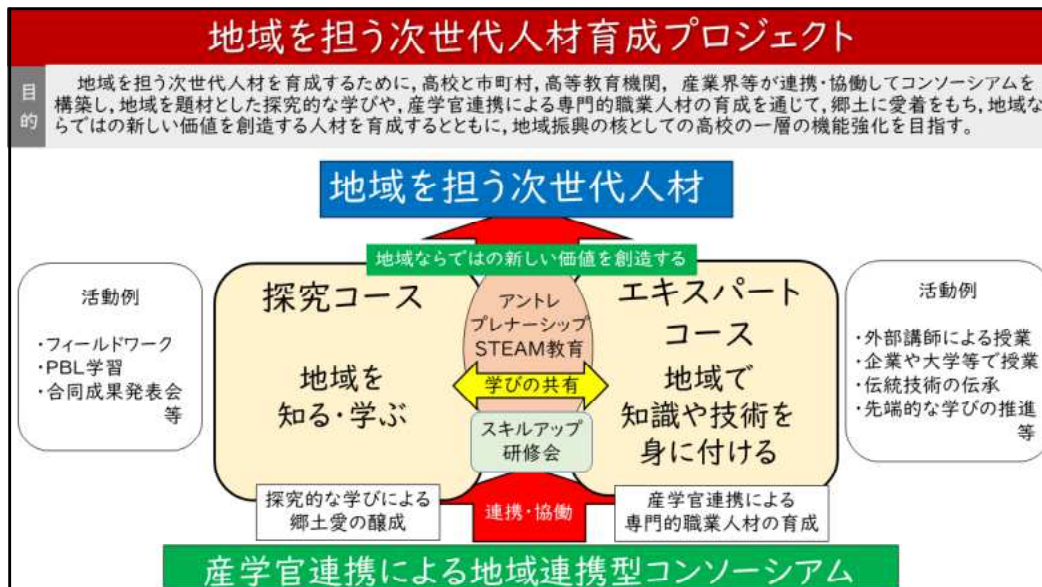
- (1) 実施方法
ア 探究的な学びを醸成する「探究コース」と、専門的職業人材を育成する「エキスパートコース」を設定する。
イ 実施校の代表生徒によるスキルアップセミナーを開催し、探究活動を深めるために必要な知識や技術の習得を目指す。
ウ 年度末には、アンケート調査等により、事業の成果を確認するとともに、成果報告書等を関係機関に配布し、事業の成果を周知する。
- (2) 実施規模
ア 両コース共に数校程度とする。
イ 1 指定当たりの予算額は「探究コース」は35万円程度、「エキスパートコース」は115万円程度とする。
ウ 原則として単年度ごとに指定する。ただし、更なる効果が期待できるなどの理由で継続して同一校を指定することもある。
- (3) 事業のスケジュール
ア 探究コース



イ エキスパートコース



(4) イメージ図



3 期待される主な効果

- 地域ならではの新しい価値を創造する人材の育成
- 地域の専門人材の活用等による実践的な職業教育の充実
- コンソーシアムの構築やコーディネーターの活用等による高校と地域との連携強化
- 人間関係形成・社会形成能力や課題対応能力等の基礎的・汎用的能力の育成
- 地域における魅力ある高等学校づくりの促進
- 地域資源の活用による起業意識の醸成
- 生徒一人一人の企画力・実践力の向上及び学校の活性化
- 実施校合同による成果発表会の実施、成果報告書の配布及び県教育委員会のホームページへの掲載等による事業成果の還元